

2025年4月25日
Peach Aviation 株式会社

関西空港で初めての試み！
GSE^{*1} 自動運転レベル 4 の実証実験を実施！
～牽引車両の自動運転で、サービス品質の向上と作業員不足への対応に貢献～

- ・ 自動運転 レベル 3、レベル 4 の実証実験を実施
- ・ 実証実験期間: 2024 年 12 月から 2025 年 4 月末
- ・ 受託手荷物返却開始時間の短縮による顧客サービス充実が目標
- ・ 空港ハンドリング業務における省力・省人化にも期待

Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、代表取締役 CEO: 大橋 一成)は、パナソニック ホールディングス株式会社(以下: パナソニック HD、代表取締役 社長執行役員 グループ CEO: 楠見 雄規) ナガセテクノサービス株式会社(以下: ナガセテクノサービス、代表取締役社長: 菱沼 裕二)、関西エアポート株式会社(代表取締役社長 CEO: 山谷 佳之)と協力し、関西空港第 2 ターミナルのランプエリア内で GSE の自動運転実証実験を実施しています。



本実証実験は、自動運転技術を活用したランプエリア内における車両走行の実用性を検証するもので、関西空港では初めての取り組みです。ナガセテクノサービスが提供する Tracteam 社製「EZTow」を使用して行われています。2024 年 12 月から 2025 年 4 月 20 日まで「自動運転レベル 3」の実証実験を行い、現在は「自動運転レベル 4」の実証実験を行っています^{*2}。

実証実験では、お客さまやスタッフが利用する道路や横断歩道において歩行者を検知し、一時停止・再発進する機能や、スペースが限られた手荷物返却エリアでの正確な幅寄せ走行など、空港特有の環境に応じた走行性能の検証を行っています。

これは、2023 年 4 月に実証した GSE の遠隔操作の実証実験に続く次のステップで、自動運転技術により今後は自動運転および遠隔操作の技術を組み合わせ、複数空港の車両を遠隔管制によって一括管理することも可能となります。これにより、空港ハンドリング業務における省力・省人化や、受託手荷物返却開始までの時間短縮によるサービス向上への貢献が期待されます。

Peach は、さまざまなパートナーと連携・協力しながら、あらゆる業務において無駄をなくし環境負荷を低減しながら運航品質を高める仕組みづくりに取り組んでいきます。

^{*1} Ground Support Equipment の略で、航空機地上支援機材の総称。牽引車も GSE の中の一つ。

^{*2} 「自動運転レベル 4」の実証実験は 4 月末までの予定

<実証実験の車両・遠隔管制システム>

Tracteasy 社製「EZTow」

予めシステムに取り込まれた走行区域の情報を基に、遠隔操作中でも車輛外部の LIDAR センサーを用いて安全停止する装置を備えています。



パナソニック HD の遠隔管制システム「X-Area Remote」

<https://holdings.panasonic.jp/corporate/mobility/x-area.html>

*X-Area(クロスエリア)はパナソニック ホールディングス株式会社の登録商標です。

<車両走行エリア>

第2ターミナル側車両通行帯およびエプロン内(黄色および青色で示すエリア)



© Google

<自動運転レベルとは>

自動車の自動化の程度を示す指標で、0 から 5 の 6 段階で定義されている。

レベル 0	運転操作は全て人間が実施。
レベル 1	運転支援。アクセル、ブレーキ、ステアリングのいずれか、または両方の操作を支援するシステムが搭載されている。
レベル 2	特定条件下での自動運転機能。アクセル、ブレーキ、ステアリングの操作を同時に支援するシステムが搭載されている。
レベル 3	条件付き自動運転。自動運転システムがすべての運転操作を代替し、走行が困難な場合には人間の介入が必要。
レベル 4	特定条件下での完全自動運転。自動運転システムがすべての運転操作を代替し、走行が困難な場合でもシステムが対応できる範囲で自動運転を継続する。
レベル 5	完全自動化。どのような状況でも、自動運転システムがすべての運転操作を代替する。人間による介入は一切必要ない。

参考: 国土交通省資料 <https://www.mlit.go.jp/common/001226541.pdf>

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は新千歳、成田、中部、関西、福岡、那覇の 6 空港を拠点とし、36 機の航空機で、国内線 25 路線、国際線 15 路線に就航しています。また、2025 年 4 月 10 日より、大阪(関西)、名古屋(中部)ーソウル(金浦)線に就航し、国際線ネットワークがさらに充実しました。Peach は引き続き、安全を最優先に基本品質を追求し、より多くのお客さまに愛される航空会社を目指してまいります。